

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 東京発ショートフィルムの祭典  
**ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2025**

『creative active generative』をテーマに  
**第27回目の開催を決定！**

【オンライン会場 4/24(木) ~ 東京会場 5/28(水) ~ 6/11(水)】

審査員には岩井俊二監督が決定

オープニングイベントにはオ・マンソク（「愛の不時着」）の来日も！



米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）2025は、5月28日（水）から6月11日（水）に東京都内複数会場およびオンライン会場での開催を決定いたしました。オンライン会場は4月24日（木）より一部プログラムの配信を先行スタートし、6月30日（月）まで展開いたします。

<https://www.shortshorts.org/2025>

**世界108の国と地域から4,592点の応募**  
**AIを使用したショートフィルムの応募数は275点**

今年の映画祭への応募作品としては、その土地ごとの家族の絆やジェネレーションギャップがテーマになった作品が多かった中、インターナショナルカテゴリーでは、イスラエル、パレスチナの紛争を描く作品が半数を占めました。ユニバーサルな思春期、Z世代のトランスユースの視点、認知症がモチーフとなるストーリーといった応募作品のトレンドも見えてきました。

そして、ここ数年伸び続ける、AIを活用した作品は今年、275点の応募数を数えました。色調補正、ボイスオーバー、細かなグラフィックやエフェクト、脚本やストーリーボードにAI技術ツールとして使用する作品が増える一方、過去数年話題になることも多かった全編AIで制作する作品は少なくなっています。

世界中のフィルムメイカーたちの“creative”が集結する映画祭は、作品とオーディエンス、クリエイターと企業が出あい、新たな化学反応が生まれる場を、“active”に創出していききたい、また、「生成AI」にも通じる新たなテクノロジーで新時代のクリエイティブを生み出していききたい（“generative”）、そんな、SSFF & ASIAの現在地と未来図を今年のテーマに映画祭を展開してまいります。

翌年のアカデミー賞ノミネートに通じる5部門（インターナショナル、アジア インターナショナル、ジャパンのライブアクション部門、ノンフィクション部門、アニメーション部門）ははじめ、映画祭入選作品の上映・配信ラインナップは4月24日（木）に発表となります。

**5月28日（水）TAKANAWA GATEWAY CITYで開催のオープニングセレモニーで幕開け！**  
**レッドカーペットには審査員 岩井俊二監督、韓国スター オ・マンソクさん（「愛の不時着」）も登場**

3月27日にまちびらきする、JR東日本グループが手掛ける国内最大規模のエキマチ一体の街「TAKANAWA GATEWAY CITY」を舞台に、今年の映画祭オープニングセレモニーを開催予定です。レッドカーペットには、今年、映画監督30周年を迎える岩井俊二さん、オープニングイベントとして開催する<日韓外交正常化 60周年関連イベント> JAPAN-KOREA Friendly Concertに登場する、韓流スター、オ・マンソクさん（「愛の不時着」）や、「棚ぼたのあなた」、「がんばれ！ プンサン」、「驚異的な噂」など数々のドラマや映画に出演するユ・ジュンサンさんの登場も決定しています。 ※詳細は2ページ目を参照

さらに、クリエイターのアセットマネジメントを行うプラットフォームLIFE LOG BOXでは国内外のクリエイター、配給会社、プラットフォームや放送事業者が参加するオンラインマーケットを開催（出品者の登録も開始）するほか、3年目となるSSFF & ASIA 2025プロモーション動画コンテスト（NFTで投票）も開催いたします。

動画コンテストURL <https://lifelogbox.com/ja/ssff-asia-2025-movie-contest/>

# SSFF & ASIA 2025 オープニングイベント

## <日韓国交正常化 60 周年> JAPAN-KOREA Friendly Concert

日時：2025年5月31日（土）13:00～、17:00～ 2回公演

会場：TAKANAWA GATEWAY CITY

主催：ネルケプランニング

チケット販売は4月24日（木）18:00スタート

共催：ショートショート実行委員会、TAKANAWA GATEWAY CITY

SSFF & ASIA 2025の幕開けを記念した特別イベント「JAPAN-KOREA Friendly Concert」を、今年新たにまちびらきした TAKANAWA GATEWAY CITYの会場で開催します。

韓国より、ドラマ『愛の不時着』や舞台『ラ・マンチャの男』などに出演されているオ・マンソクさん、ミュージカル『フランケンシュタイン』のオリジナルキャストであり、映画やドラマでも幅広く活躍するユ・ジュンサンさん、日本より、元宝塚歌劇団トップスターで「マイフェアレディ」「天使にラブソングを」など様々なミュージカルで主演をつとめる朝夏まなとさん、ミュージカル「フランケンシュタイン」「MATA HARI」など韓国創作ミュージカルの日本初演にも多数出演している歌手・俳優の加藤和樹さん、そしてSSFF & ASIAの代表であり数々のミュージカルにも出演する別所哲也という豪華出演陣によるライブコンサート&トークショーとなります。



### ユ・ジュンサン

90年代の映画「テルミー・サムディング」でデビュー。その後、韓国ミュージカルの主演として認識され、ミュージカル「ギリシャ・デニー」役として注目された。

以後、ドラマで「キツネと綿菓子」、「棚ぼたのあなた」、「がんばれ! プンサン」、「幻魂」、「驚異的な噂」等に出演し、人気を博した。映画監督としては7作目の映画を作った。

4本の長編と2本の短編が収録されており、現在5番目の長編映画を撮っている。

大型創作ミュージカル10編余りに出演し、そのうち6作品が10年以上公演され、興行を記録した。

ミュージカル界で信頼できる俳優として位置づけられている。



### オ・マンソク

韓国芸術総合学校演劇院演技科1期出身で1999年演劇「ファウスト(FAUST)」でデビュー。以後、演劇、ミュージカル、映画、ドラマ、芸能など様々な分野で活躍しており、2008年からは俳優だけでなく演劇、ミュージカル演出家としても活動中。

また2021年には母校の韓国芸術総合学校演劇院専任教授として採用。彼は演劇「イ」で2000年韓国演劇協会男子新人演技賞、2005年ミュージカル「Hedwig」で韓国ミュージカル大賞主演男優賞、2006年にはドラマ「ぶどう畑のあの男」でKBS演技大賞で3部門を受賞し、脚光を浴びた。

その他の主な作品としては、ミュージカル「Dream girls」、「Man of La Mancha」、「Rebecca」、「Kinky Boots」、「あの日々」とドラマ「王と私」、「王家の家族」、「愛の不時着」などがある。



### 朝夏まなと（あさか まなと）

17年11元宝塚歌劇団を退団後、Concertにはじまり『マイ・フェア・レディ』『オン・ユア・フィート！』『笑う男 The Eternal Love -永遠の愛-』等に出演し、20年に『Little Women—若草物語』『天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～』の演技に対し第45回菊田一夫演劇賞を受賞。

その後『ローマの休日』『バーナム』『メリー・ウィ・ロール・アロング』『王家の紋章』『モダン・ミリー』ストレートプレイ『こどもの一生』『SHINE SHOW！』『ロボット』ミュージカル『フランケンシュタイン』などに出演。今後『SPY×FAMILY』再演の出演も控えている。

ドラマでは『アンチ・ヒーロー』（TBS）にも出演。またArtistspokenで、配信パーソナリティも務めている。



### 加藤和樹（かとう かずき）

2005年、ミュージカル「テニスの王子様」の出演で一躍脚光を浴び、2006年CD「Rough Diamond」でアーティストデビュー。以来日本武道館や全国TOUR、毎年CDリリースするなど、精力的な音楽活動を行う。近年はミュージカル俳優として「フランケンシュタイン」「ラブ・ネバー・ダイ」「ファントム」

「MATAHARI」「1789パステューユの恋人たち」「タイタニック」など様々な作品に出演している。2021年、第46回菊田和夫演劇賞受賞、2024年第32回読売演劇大賞・選考委員特別賞（「カムフロムアウェイ」）を受賞。



### 別所哲也（べっしょ てつや）

90年日米合作映画『クライシス2050』でハリウッドデビュー。米国俳優協会(SAG)会員。その後、映画・ドラマ・舞台・ラジオ等で幅広く活躍中。「レ・ミゼラブル」、「ミス・サイゴン」などの舞台に出演。99年より、日本発の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」を主宰し、文化庁長官表彰受賞。観光庁「VISIT JAPAN 大使」、映画倫理委員会委員、外務省「ジャパン・ハウス」有識者諮問会議メンバー、東京観光大使に就任。内閣府・世界で活躍し『日本』を発信する日本人の一人に選出。第1回岩谷時子賞奨励賞受賞。第63回横浜文化賞受賞。

## SSFF & ASIA 2025 審査員 岩井俊二監督より応援コメントが到着



### SSFF & ASIA 2025 審査員 岩井俊二監督

短編という限られた時間の中で観る者の心を揺さぶる物語を紡ぎ出すためには、長編とは違ったテクニックが必要です。今年で長編を撮り始めて30年経ちましたが、ぼくも自分自身のキャリアを短編からスタートしました。今でも無性に、濃密で凝縮された時間の中で物語を作りたいという衝動にかられ、短編を作ることがあります。

最近、YouTubeやTikTokなど短編動画がどんどん身近になってきましたが、大きなスクリーンで観られる機会はなかなかありません。今年のショートショート フィルムフェスティバル & アジアには、どんな驚きと感動が待っているでしょうか？みなさんと一緒に、作り手の情熱と創造性が詰まった作品に出逢えることを楽しみにしています。

## SSFF & ASIA 2025 アンバサダー LiLiCoさんのコメント



### SSFF & ASIA 2025 アンバサダー LiLiCoさん

ショートショート フィルムフェスティバル & アジアは短編を愛するみんなが集まる映画祭です。でもそれだけではない。誰よりも先に新しい才能に出会えます。知らなかった国の文化や生活も知ることが出来ます。様々な想像力に刺激され、そのお陰で自分の視野と世界観が一気に広がります。日本のクリエイターはもちろん、毎年海外からいらしてくる俳優やスタッフとお話すると映画への愛と感謝を感じ、本当に心の底から楽しんでくれているのが伝わります。映画で繋がる人々。みんな輝いています。アットホームな映画祭だからこそみんなの距離が近い。映画の上映時間は短くても、ここで繋がる縁は長くつづきます。

## SSFF & ASIA代表 別所哲也のコメント



SSFF & ASIA 2024アワードセレモニーより

### SSFF & ASIA 代表 別所哲也

いよいよ今年も映画祭が始動します。テーマは「creative active generative」。僕にとって映画祭は子どものような存在。毎年毎年、それぞれの個性や様々な表情を持った子どもを生み出している＝generativeな場なのです。そしてコロナ後、海外からの来日監督の数も増え、映画祭は世界中のクリエイターが集まり、情報交換したり互いにインスパイアしあったりして、新しいワクワクする種が生まれます。そこには、作品を観に来てくれるお客さんやサポートしてくださる企業や団体の皆さんも欠かせない存在で、それぞれがアクティブ（active）に映画祭に参加し、楽しめます。そんな映画祭はまさにクリエイティブ（creative）で僕が目指したかったものなのです。より多くの、色々な人がこの映画祭に参加して、素敵な27回目の開催を一緒につくりあげていけると、今から心躍らせています。ぜひ映画祭でお会いしましょう！

映画祭をGenerateせよ！Activeなあなたの動画が  
国際短編映画祭のセレモニーで流れるチャンス！Be Creative!  
NFT投票で選ばれた優秀作品は映画祭セレモニーで上映&は賞金10万円

20 SEC PROMOTIONAL MOVIE CONTEST  
FOR  
SHORTSHORTS  
FILM FESTIVAL & ASIA 2025  
creative  
active  
generative  
あなたの  
動画が  
賞金10万円  
国際短編映画祭の  
セレモニーで流れるチャンス！  
LIFE LOG BOX  
Visual Data Assets Management

第27回目を迎える映画祭開催に向けて、テーマ「creative active generative」をイメージした映画祭プロモーション動画を募集します。

映画祭公式映像管理運用プラットフォームLIFE LOG BOX内で、本コンテストへの投票権を一般配布し、クリエイターやオーディエンスからの投票を受け付けます。

最も得票数の多く、映画祭実行委員会の審査を勝ち抜いた動画が、5月末～6月に行われるSSFF & ASIA 2025のセレモニーなどで上映される予定です。

URL <https://lifelogbox.com/ja/ssff-asia-2025-movie-contest/>

Short Shorts Film Festival & Asia 2025 のロゴ及び「creative active generative」をモチーフにしたメインビジュアルを下記サイトよりダウンロードし、動画内に用いても構いません。

ダウンロードはこちら！

URL: <https://drive.google.com/drive/folders/1KM9nW9cz-05ebqulJyFQmJip0RoXTB98?usp=sharing>

【応募期間】 2025年3月25日（火）14:00- 2025年5月1日（木）24:00

【投票期間】 2025年5月8日（木）14:00- 2025年5月21日（水）24:00

【登録料】 無料

【賞】 優秀賞：10万円 ※賞の名称、賞金等は変更の可能性があります。また、該当する作品がない場合もあります。

【選考結果通知】 映画祭セレモニーで優秀作品を実際に上映し、発表となります。投票ページにおいても、投票結果を発表します。

## 【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2025 概要】

■映画祭代表：別所 哲也

■開催期間：

4月24日（木）～6月30日（月）オンライン会場

※期間により配信プログラムが異なります。

5月28日（水）オープニングセレモニー

5月29日（木）～6月10日（火）東京会場

6月11日（水）アワードセレモニー

■上映会場：TAKANAWA GATEWAY CITY、表参道ヒルズ スペースオー、赤坂インターシティコンファレンス、WITH HARAJUKUほか

※会場により、期間、プログラムが異なります。

■チケット：上映会場、オンライン会場ともに有料、一部イベントは無料

販売開始は4月24日（木）14:00～

※オープニングイベントは同日 18:00～

■一般からのお問い合わせ先：[info@shortshorts.org](mailto:info@shortshorts.org)

■オフィシャルサイト：<https://www.shortshorts.org/2025>

※2025年のラインナップは4月24日（木）に公開

■主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会



## 【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

**SHORTSHORTS**  
FILM FESTIVAL & ASIA

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。

また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、ライブアクション部門（インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパンの各カテゴリー）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】<https://www.shortshorts.org>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）  
阿部、武田

TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：[SSFF@ssu.co.jp](mailto:SSFF@ssu.co.jp)

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail：  
[press@shortshorts.org](mailto:press@shortshorts.org)

画像は下記よりダウンロードいただけます（期間：3月25日～6月30日）

<https://drive.google.com/drive/folders/19Afnpq2bIIIfIJQnvv7mXzI967u1Phv7L?usp=sharing>